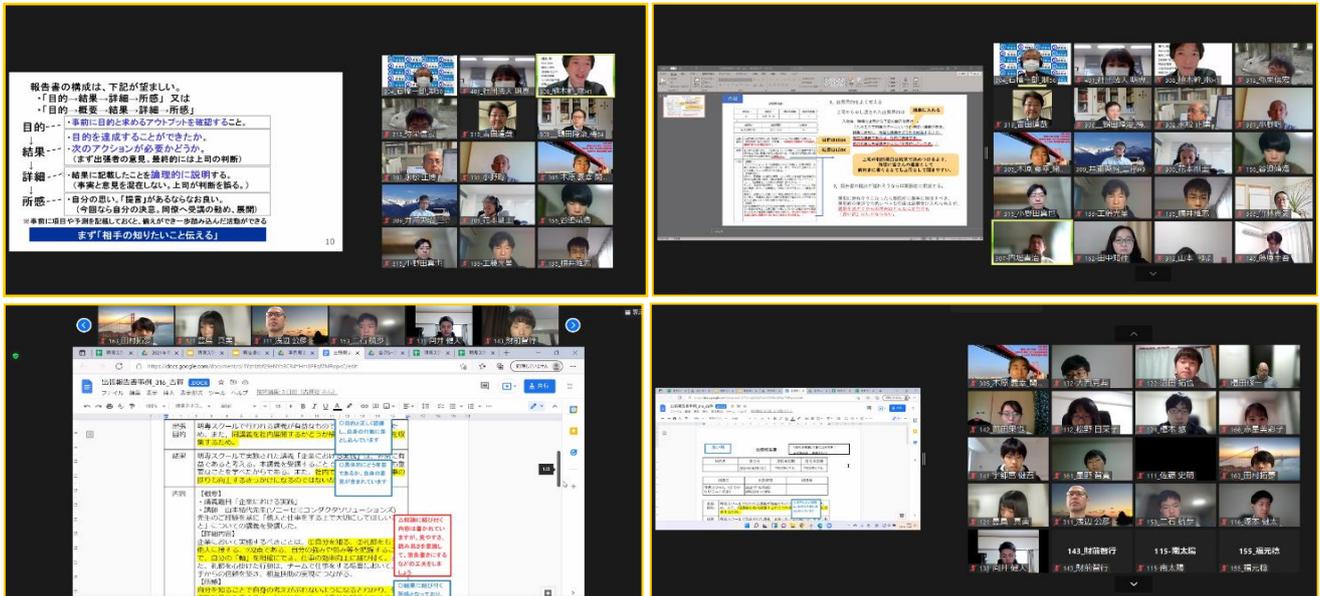


令和3年度 明専スクール（第3日目）がオンラインで開催

文責者：一般社団法人 明専会

令和3年11月6日（土）09:30～12:35、オンラインにて、令和3年度明専スクール（第3日目）を開催致しました。就職が内定した学生のうち、各学部・学科から学生34名、講師や運営を支援する大学・明専会会員、明専会事務局から19名が出席しました。



▲ 報告書の書き方

11/6（土）明専スクール 第3日目の開催スケジュールは、次の通りでした。

- 09:30～09:35 オリエンテーション（植木幹さん [電H1・TOTO]）
- 09:35～09:55 「報告書の書き方」（植木幹さん [電H1・TOTO]）
- 09:55～11:50 「グループ討議～報告」
（植木幹さん[電H1・TOTO]、内堀憲治さん[電61・本田技研]
井浦英昭さん[二電H3・安川電機]、浅辺公彦さん[情知H4・野村総研]
吉田達哉さん[物材H6・日本製鉄]、
小野田真也さん[情知H12・日立ソリューションズ西日本]
古賀稔さん[情子H13・安川電機]、弥栄信宏さん[機宇H25・TOTO]）
- 12:00～12:20 「明専会への案内」（石橋一郎さん [制56・安川電機]）



▲ グループ討議の発表



▲ 質問、アドバイスするOBの様子

3日目の明専スクールでは「報告書の書き方」と「グループ討議の発表」が主な活動となりました。

報告書の書き方では、実際にOBが添削した報告書をもとに、色々なアドバイスが送られました。この報告書の書き方は、毎年、受講生から高い評価を得ている講座ですが、今年度の受講生も皆、真剣な表情で聞き入っていました。

また、3日間の集大成となる「グループ討議発表」では各班の発表者が10分間の持ち時間の中で班でまとめた資料を力強く発表しました。発表後の質疑応答ではOBから鋭い質問を受ける班もありましたが、どの受講生もそれぞれ自分の言葉で懸命に回答する姿が印象的でした。

この3日間は学生にとって、大変な1か月になったと思いますが、入社後の自分を想像して、今一度「企業とは何か」という事を見つめなおした期間になったのではないかと思います。いよいよ来年の春から就職しますが、入社時には明専スクールで得た知識と経験、縦と横の絆を活かして、自信を持ってスタートしてください。

最後に、今年度はコロナウイルスの影響により、色々な制約がある中でのオンライン開催となりましたが、委員の皆様をはじめ、講師、大学・明専会関係者の皆様には多大なるご支援・ご協力を頂きまして心から感謝申し上げます。この場をお借りして、明専スクールに携わったすべての皆様に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。